

第274回 令和8年7月17日（金）

「AIが代替する仕事について」

いよいよ明日から夏休みです。校長日誌もしばらく休憩。夏休み明け、275回から再開する予定です。今日は文部科学省の講演を聞いてきたので、その情報をお伝えします。

AIの進化が止まりません。もっともAIは自分で進化するシステムなので止めようがありません。すでに東大理Ⅲに首席合格できる能力があります。それほどの能力を持った人物はこの企業も採用したいでしょうから、人間の仕事を奪うことも必然ですよね。

しかも芸術的才能にもあふれ、作曲やコンピューターグラフィックの作成は得意です。瞬時に傑作を作ってしまうので、先日テレビを見ていたらアメリカでグラフィックデザイナーが大量に解雇され、年収2400万だったのが、急にゼロになったニュースが流れていました。

何千万もかかっていたCM制作も、出演料も含めほぼ経費無し、しかも数分でできる時代になってしまいました。

知的労働がもっとも影響を受けると言われています。私のような管理職や事務職なども仕事がなくなると予想されています。確かに労務管理に加えて的確なアドバイスや間違えない判断力があれば強力な管理職ですよね。

いままで文系と言われてきた分野の仕事が解雇によって大量の余剰人材が発生するそうです。逆に人口減少の日本では2040年に1100万人の労働力不足となる試算が出ているのですが9割が理系人材、主にITやAIのエンジニアになります。

国は理系人材の育成に舵を切ります。文理融合と言って、従来のように文系と理系を分けることなく教育をしていく方法を模索しています。特にビックデータの読み取りなど数学的な思考力はすべての子どもに受けさせようと考えているようで、次の学習指導要領には明確な方針が示されるようです。

1900年代の産業革命においても人間は機械化の波に逆らうことはできませんでした。多くの労働者は機械にいままでの仕事を奪われ、工場で働くことになりました。明治期の日本でも、農業で生計を立てていた人の多くが工場労働者となりました。

時代を読む力や工夫して生き抜く力がこれまで以上に必要になります。自分という価値をどうやってプレゼンしていくのか、知識があるだけでは生き残れません。AIが代替できない人間性が鍵になります。長期のお休みの間、これからの自分の生き方について考えてみてはいかがでしょうか。それでは元気に充実した夏休みを過ごしてください！